



Words of publication

発刊のことば

— 開かれた議会をめざして —

八尾市は昭和23年(1948年)4月1日に市制を施行して以来、平成30年(2018年)4月に70周年の節目の年を迎えました。平成20年(2008年)に「八尾市議会60年のあゆみ」を発刊してから、はや10年が経過しました。

この間、市議会を取り巻く状況は大きく変化してきました。地方自治法の改正により、議会の権限が強化され、公的な活動範囲が拡大されました。地方議会については、市民ニーズに沿った二元代表制の趣旨を生かした議会の改革が求められています。

こうした中、我々は先人からのあゆみを止めることなく、地方議会のトップランナーをめざして委員会制度改革や開かれた議会の推進など、さらなる議会の権能強化を推し進めてまいりました。

一方、一昨年に実施をした八尾市民意識調査によると、6割の市民が市議会に関心がないと答えており、若年層になるほど関心が低いことが明らかになっています。また、地域の課題を把握し、市民の声を市政に反映させることを期待する声が多く寄せられています。

それだけに、市民の皆様の意見が市議会を通じて市政に反映されていると感じていただけるような市議会を挙げた取り組みが求められているところです。

近年、八尾市議会は、市民や大学生、高校生などの声を聴く機会を作ってきました。これからも、一人でも多くの市民の皆様に関心を持っていただき、参加していただけるような、開かれた議会をめざした取り組みを進めてまいります。

本冊子を通じて、市民の皆様の代表である市議会の取り組みについて、広くご理解いただくことを願います。

平成31年(2019年)2月 八尾市議会